Go to Next Stage

「なぜ、勉強しないといけないのか？」と思っている生徒はこれを熟読して、今後の学校生活や人生に活かしてください。

中学生の勉強する理由

「なせば成る」と自信を持つ

勉強は、努力が必ず報われます。確かに定期テストや受験は一発勝負で、どっちに転ぶか分かりません。しかし、少なくとも努力した分、必ず点数は伸びます。できなかった問題ができるようになれば嬉しいし、点数が上がれば自信になります。

高校入試で希望高校に合格したら、涙が出るほど感激します。中学校で、そんな「頑張ればできた」という体験をしておくべきだと思います。「なせば成る」という自信を持つ、これが中学生に一番伝えたいテーマです。

頭脳を鍛える

サッカー選手は、ドリブルやキックの技術で勝負します。ただし、前提として基礎体力（走力など体の強さ）は欠かせません。

君たちも仕事を始めると、それぞれの仕事固有の技術で勝負します。そして、前提として頭脳が鍛えられていること（思考力や判断力などの頭脳の強さ）が大事です。

学生時代にどれだけ頭脳を鍛えてきたかで、仕事をするときの基礎体力が決まります。仕事をし始めると痛感するはずです。

大人になり自分の力で生きていくためには、子どものときとは違うことがあります。子どものときは、何か問題があると両親が解決してくれます。しかし、大人になると、ひとりで解決していくしかありません。人生の中で必ず何度かは、大きな問題に直面します。そのときに必要なのが、自分の頭で考え判断する力です。

その問題解決能力であったり、思考力、判断力は、子ども時代の頭脳トレーニング、すなわち勉強で身に付きます。十分に鍛えられた頭脳とトレーニング不足の頭脳では、難題に直面したときの反応が違います。

努力し続ける力

中学生は、勉強や部活動で「努力し続ける力」を養っています。テレビを見ることもゲームやインターネットをすることもできる時間に、自分を律し勉強する人は、成績や試験の点数が上がります。

「何か成し遂げよう」と思えば、努力が必要で、それは当たり前の話です。「努力し続ける力」は習慣です。自分を律し努力する習慣を持たない人は、いざというときにも努力できないし、力が出ません。

大人は、何をするにせよ、自分の意思で決められます。「何か目的を持ち、自分を律し努力する人」と「場あたり的な過ごし方をしてしまう人」では、違う人生を歩みます。人生に優劣はつけられません。選ぶのも自由です。しかし、ただ違う人生を歩みます。

学歴で損はしない

どんなに立派な学歴であっても、仕事ができない人はいます。そんなに立派な学歴を持たなくても、仕事ができる人もいます。仕事に学歴は関係ありません。むろん、人間性には無関係です。それでも、学歴が高いと得をし、学歴がないとハンディキャップを負う。これも事実です。

人生では多くの人と出会います。そのとき残念ながら、全ての人の本質を見抜くことはできません。そこで多くの人は、人を見るときに学歴を判断材料の一つにします。周りの人が君を見るとき、「頭脳を鍛えてきたか」「努力する習慣を持つか」を推測する上で、学歴がヒントになります。

可能性を広げる

将来の可能性は大きく広がっています。いつか君たちも「これをやりたい」と夢中になれるものを見つけるはずです。その時、何らかの理由で「自分には無理だ」とあきらめてしまうようなことがあれば、悲しいことです。

将来の可能性は大きく、予測が難しい。だからこそ、選択肢を多く残しておくべきです。ここまで話をした「なせば成る」「頭脳を鍛える」「努力し続ける」「学歴」は、どんな道を歩むにしろ、君たちの大きな力となります。

これらの理由以外にも「勉強する理由」はあると思います。両親や信頼する大人から「なぜ勉強するのか」を聞いてもいいと思います。後は、自己判断、自己責任です。自分の人生、自分しか責任は取れません。

今、君たちは「準備の人生」を過ごしています。準備した後で「本番の人生」があります。「本番の人生」は、「準備の人生」に大きく左右されます。楽しくはつらつとした人生を歩むのか、後悔の多い人生にするのかは、君たち次第です。しっかり準備して、胸を張って「本番の人生」へ踏み出してください。

生徒会中央委員会（4月16日）

中学生で鍛える力は？

「将来こんな仕事をするとは思わなかった」というのが、大抵の大人の気持ちだと思います。実は私もそうです。20年前は、自分が中学校の校長として仕事をするなんて、まったく想像していませんでした。

今、この仕事をしているのは、それまでの仕事を通じていろんな人に出会い、成果をあげることで、自分のものの見方や身につけたことが、自然に深まり広がっていったからだと思います。すなわち「経験値が上がった」からだと思います。

自分の経験値を上げていくには、ある力を鍛えていく必要があります。その力とは、「集中力」です。集中力があれば、どんなことでも自分のモノにできます。

将来研究者になっても、エンジニアになっても、経営者になっても、集中力があれば必ず活躍することができると思います。

実際に、私が今まで「仕事ができるな」と感じた人たちは、全員、すばらしい集中力の持ち主でした。

実は、この集中力は、小学生と中学生の時に何かにモーレツに集中することでしか身につかないものなんです。

勉強・部活動・学校行事等は、皆さんの今の集中力を鍛える、またとない機会です。皆さんが社会に出てから活躍できるかどうかの、大きなカギを握っているのです。